

# 魚沼ものづくりタイムズ

◆ 事務局：魚沼市今泉 1488-1 旧広神庁舎 3 階  
TEL 025-793-7280 fax 025-793-7287



2022年1月15日 No. 50 一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会

謹賀新年

年頭挨拶

＝時代の変化に適応し

会員企業の連携と協業のもと

未来を創造する企業・U-big へと変革しよう＝

明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、新たな寅年をいかがお迎えでしょうか。

昨年も新型コロナ感染拡大は収まらず、変異株の発生で、ついに世界で540万人を超える尊い命が奪われてしまいました。消毒、マスク着用等、決してなめてかからず、自分たちで出来る予防と科学の力を信じて終息を待ちましょう。

昨年の東京オリンピック、パラリンピックは多くのメダルを手にし、厳しい環境下での開催でしたが、歴史に残る感動を与えてもらいました。

さらに大リーグの大谷選手フィーバー、松山選手のマスターズ日本人初勝利など、若いアスリートの方々の大活躍は、私達にも大変明るい話題として元気をいただきました。

また、U-big で製作した「足踏みプッシュ君」は250台、各地で活躍していると聞きますが、ここには私たちのものづくりの原点「世の中の役に立つ」があります。

さて、今年も寅年、「虎穴に入らずんば、虎子を得ず」成功に導くには、リスクが欠かせません。待たずに、挑戦しましょう。

歴史から学び、現在をしっかりと分析して、未来を創造する。この繰り返しを忘れてはならないと思います。今しばらくは厳しい日々が続くとは思いますが、会員間の活動をより積極的に進め、進化するU-bigをみんなで創っていきましょう。

会員の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念し、新年の挨拶といたします。



一般社団法人魚沼ものづくり振興協議会  
代表理事 井口孝司



## 令和3年度 全体会・平山塾を開催

11月25日（木）UOSHINにて「（一社）魚沼ものづくり振興協議会 全体会・平山塾」を開催いたしました。全体会では、これまでの活動報告と今後の活動計画について報告。

その後、「平山塾」では新潟国際情報大学顧問平山征夫先生をお招きし、『地球と時代が抱えた大きな課題』＝見届けられない人類の岐路＝と題してご講演いただきました。今後の社会の変動、地球と時代が抱えた課題、次世代に向けた課題など、多岐にわたりお話を伺うことができ、今後について考える機会となりました。特に、平山先生が喜寿を迎えられ、今回が最後となった「平山塾」でした。平山先生の「宿命に生まれ、運命に挑み、天命に燃ゆ」という一言が、出席者全員の心を打ちました。

また、21世紀は人口増大、地球温暖化、資本主義の劣化である成長鈍化。そして、AI時代の到来と大きな課題を抱えている。その課題を乗り越えるには、各人も企業も『競争・奪い合う』から『分かち合う』への生き方のパラダイムシフトが必要である。「平山塾」最後の結論として、今のままだと『ゆで蛙』に向かっているように思える。我々の世代は次の世代以降に向かって、今何をしなければならないか。もっと突き詰めて考えるべきである。と締めくくって降壇されました。

U-bigとしても一層の連携・協業を深めるべきと痛感させられました。



## 中小企業大学校 三条校 U-big 展示ブース設置～

7月8日、U-bigの技術と企業PRを目的に中小企業大学校三条校へ、U-big会員企業7社とU-big会員企業各社の企業紹介パンフレットを設置いたしました。中小企業大学校との連携によって生まれた展示ブースの設置です。県内外からの大学校への受講生及び来場者も多いと思います。取引にまで結びつけられれば幸いです。

通年で展示しております。会員の皆様も是非、足を運んでみてください。



## 魚沼市長との意見交換会を開催

7月30日、内田魚沼市長、U-big理事会役員との意見交換会を行いました。当日はご多用の中、内田市長をはじめ魚沼市役所産業経済部武藤部長、商工課吉田課長からもご出席頂きました。

人口流出や雇用人材確保などに関する課題など多岐にわたるテーマで意見交換が行われ、行政との連携を深める機会となりました。内田市長からは、「足踏みプッシュ君」の寄贈と市内各地区への配布140台の作製対応の御礼を頂きました。

U-bigに対しては、『地域活性化には、地域産業、市民が元気でないとなりません。U-bigは、企業間連携の素晴らしさ、地域経済を牽引していく団体であると認識しております。また、各企業には雇用の受け皿として市外への人口流失防止の役割を期待しております。今後も、市としてはU-bigと連携、協力していきたいと思っています。』とU-bigに対し力強いお言葉をいただきました。

## サテライト・ゼミ開催

8月19日～20日、9月30日～10月1日の全2回 中小企業大学校主催のサテライト・ゼミ「組織を強くするチームマネジメント」（講師：松澤宏一氏）と題し開催いたしました。

参加企業数は4社と少なかつたものの、講師との距離も近く大変有意義な時間となりました。各位、自社へ持ち帰り、セミナーで学んだ知識を実践していただきたいと思っております。



## 夏休みものづくり工作展

9月10日～11日、「令和3年度夏休みものづくり工作展」を開催いたしました。

昨年度の作品数(120作品)を大きく上回る206作品が出品され、期間中の一般公開日には260名の方々からお越しいただきました。内田市長をはじめとした審査員による厳選なる審査の結果、上位4作品が、第70回新潟県模型展に出品。

うち2作品が受賞いたしました。

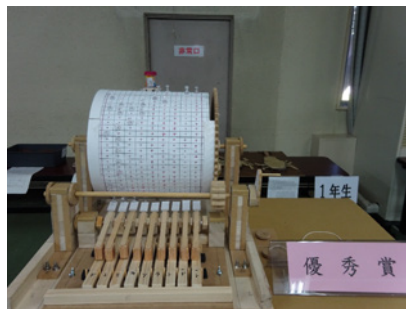
子供たちの技術の高さ、発想力の豊かさに驚きました。皆アイデアが素晴らしく、将来のものづくり職人がここから出るかもしれませんね。

### 【第70回新潟県模型展 受賞作品】



魚沼市ものづくり工作展 最優秀賞 【木の羽のトキ】

◎第70回新潟県模型展 公益財団法人発明協会会長奨励賞 受賞



魚沼市ものづくり工作展 優秀賞 【ミュージックマシーン】

◎第70回新潟県模型展 新潟工業技術総合研究所長賞 受賞

## ワークトライアル

9月17日、実際に気になる職業を体験して、今後の進路選択のヒントとするワークトライアル（魚沼テクノスクール主催）の体験メニューに機械部門が新規に追加されました。

講師は、星光男様（(株)新潟プレジジョン会長）、中村武信様（中村バルブ製作所会長）。熟練の技を懇切丁寧にご指導いただきました。

当日は、小出中学校の生徒3名が参加。実際に金属ドリルを使い、一輪挿しを製作しました。生徒たちも、一生懸命に取り組み、完成品を自宅に持ち帰り、ご両親を喜ばせたことと思います。今後も参加者の状況に応じ、月1回の開催を予定しております。

開催に伴い、U-big会員各位より備品等を沢山提供いただきました。改めて御礼申し上げます。



## 若手社員の育成と子どもたちへの教育事業 ～ものづくり等人材育成事業～

9月17日、「まち」の仕事発見塾を開催いたしました。

当日は、魚沼市内中学校1年生(約300名)を対象に参加企業17社から地域企業の魅力や自社の紹介及び製品の紹介をしました。

生徒たちは、メモをとったり質問をしたりと熱心に対応していました。

生徒、また先生からのアンケートにも『こんな高い技術を持った企業があったことは知らなかった。』『魚沼市の企業をもっと知りたい。』『地元で働いてみたい。』など、いろいろな声が上がりました。

この事業が、次年度の職場体験や将来の職業選択へとつなげてもらいたいです。





## 市・工科大学 包括連携協定締結記念講演

10月30日(土)魚沼市役所本庁舎にて魚沼市・新潟工科大学包括連携協定締結記念講演会が行われました。パネルディスカッションでは、「将来に向けた人材育成！包括連携への期待と思い」と題し、新潟工科大学 大川学長、魚沼市 内田市長、U-big井口代表理事が登壇しました。企業の魅力・市の魅力・人材育成・技術者の育成・企業と大学との連携等について熱く意見交換がなされました。

今後、大学は学生が欲しい、市は人口減少に歯止めをかけたい、企業は人財・技術者の確保をしたい。との観点から工科大、魚沼市、U-bigは定期的な打ち合わせを基に、具体的に何をやるか、何がしたいか1つ1つの課題、実行アイテムを出しながら「三方良し」を実践して行く。また、定期的な進捗の確認とPDCAのサイクルを回して行くこととした。他の団体を巻き込みながら、包括連携を価値あるものとしてゆく。等の決意表明となりました。特別講演では、テーマ「シュミレーションで見えてくる安心・安全」と題し、魚沼出身で新潟工科大学 富永禎秀教授よりご講演いただきました。

## ロボット工作展

11月3日(水、祝)堀之内公民館にて、魚沼市内の小学生4～6年生(受講者17名、保護者25名出席)を対象に「ロボット工作教室」が開催されました。

(主催:魚沼市、新潟工科大学産学地域交流センター、後援:新潟工科大学産学交流会、U-big)

当日は、講師に新潟工科大学准教授 大金<sup>かつじ</sup>一二氏、学生7名がご指導くださりました。

ロボット作りを通し、科学技術やものづくりへの興味、理系の学びへの意識を高められたと思います。

子供達からは「来年もやりたい。」保護者からは「子供と一緒に作りたい。バトルもしてみたい。」という声が上がっていました。来年以降も開催したいと思います。



## プッシュ君組みたて

魚沼市のコロナ禍における地域活動の維持・継続に向けた支援策として、各集会所に感染症対策キットが配布されました。U-bigでは、技術開発委員会主催で開発された「足踏み式消毒スタンドプッシュ君」の製造依頼を受け、合計150台製作。U-big会員有志で3回にわたり組立を行いました。



なお、一昨年12月から作製した「足踏み式消毒スタンドプッシュ君」は、累計250台。完売となりました。U-big会員の連携、協業の大きな成果です。引き続き、次の柱に向け活動して行きましょう。

## 食まちうおぬま 里山まつり

10月2日(土)響きの森公園にて「食まちうおぬま秋の陣2021里山まつり」が開催され、U-big食品部会が出店いたしました。新型コロナウイルス感染症対策として、会場内での食事はできなかったものの、魚沼醸造、本高砂屋、テーブルマーク、ホリカフーズの4社が出店し自社の自慢の商品をPRしました。

## 小出高校キャリアガイダンス

11月10日(水)新潟県立小出高等学校1年生約140人を対象に、新潟県魚沼地域振興局と連携し、魚沼市の企業の魅力を知ってもらい、将来の職業選択に繋げてもらうことを目的に開催いたしました。

当日は、U-bigの各部会から合計6社(アートプリント角越、スター精密、東邦電子、ホリカフーズ、魚沼醸造、カイセ工業)が参加し、企業の魅力や技術、働くことの意味や魅力をお話いただきました。

## 研修委員会主催 各種セミナー

### ◎事業継承セミナー

(新潟県中小企業中央会 共催、講師:東京海上日動火災保険会社 新潟支店)

11月19日(金)「自然災害、感染症対策に向けた計画と備え」と題し、

セミナーを開催いたし、有事時における

「事業継続の必要性」について学びました。

(U-big会員 8名出席)



### ◎電話対応セミナー

(講師:㈱プレステージ・ヒューマンソリューション)

11月26日(金)「お客様の目線での電話対応を考え、良い印象を与えるコツを学び、実践にて身につく研修」と題し、セミナーを開催いたしました。講義だけでなく実践をとおり、電話対応について学びました。(U-big会員13名出席)



## 食品部会主催 家族亭商談会

12月13日(月)～14日(火)小出商工会にて、食品部会主催により家族亭商談会を開催いたしました。

昨年から計画したものの、新型コロナウイルスの為、2度の延期を繰り返してこの度やっと開催のはこびとなりました。

家族亭は、大阪市に本社を置く外食産業企業であります。

当日は、U-big食品部会よりホリカフーズ、魚沼醸造、大栄食品、大力納豆、本高砂屋と会員外企業9社、合計14社が参加しました。また、U-big井口会長も挨拶に来場され、更に内田市長も魚沼市のトップセールスとして来場いただきました。これを機に、魚沼の食品・食材が広がることを期待しています。

### 【今後の予定】

◎令和4年2月上旬 全体組織の決定(令和4年度方針及びスローガン)

◎令和4年3月上旬 各部会、委員会の令和3年度活動報告及び令和4年度計画の決定

◎令和4年3月上旬 2023(令和5年)卒業生向け「魚沼オンライン 就職合同説明会」開催  
(魚沼市・三条テクノスクールとの共催)

◎令和4年3月10日 堀之内高等学校キャリアガイダンス開催予定

当日は、働くことについて、将来の選択肢について、企業説明などを行っていただきます。

会員の皆様には追って詳細につきましてご連絡いたしますので、皆様のご協力をお願いします。

◎令和4年3月16日～18日 機械要素技術展(M-tech)へ出展予定

出展企業:栄工舎、山田精工、加藤精工 計3社 会場:東京ビックサイト 西展示場

### 【新規会員のご紹介】

(令和3年9月1日入会)

◎企業名:株式会社 プレステージ・インターナショナル (部会:交流、委員会:研修)

担当者:執行役員魚沼センター長 金子 泰久 氏

住 所:(魚沼テラス) 〒946-0073 新潟県魚沼市大沢 213 番地 1 旧湯之谷庁舎

連絡先:TEL 025-795-6005 FAX 025-795-6015

Mail [ykaneko@prestigein.com](mailto:ykaneko@prestigein.com) HP [www.prestigein.com](http://www.prestigein.com)

(令和4年1月1日入会)

◎企業名:株式会社 百笑 縁ファーム (部会:食品、委員会:研修)

担当者:代表取締役 坂本 淳 氏

住 所:〒946-0061 魚沼市新保 114-1

連絡先:TEL 025-793-7840 FAX 025-793-7841

Mail [jun.s@en-farm.com](mailto:jun.s@en-farm.com)

### 一編集後記一

新年あけましておめでとうございます。  
本年もよろしくお願ひいたします。  
まだまだ、新型コロナウイルスとの戦いは  
終わりそうにもありません。手洗い、  
マスクなど感染対策の基本を続けてい  
きましょう。

事務局 仲丸

